ななやま トレッキングマップ

名前の通り七つの山々に囲まれた七山。
魅力もまたそれぞれに違っています。
マップを片手に散策してみてはいかが？

お問い合わせ
唐津市七山支所 産業課
〒847-1106 佐賀県唐津市七山滝川1254
TEL 0955-58-2111／FAX 0955-58-2071
53－7175

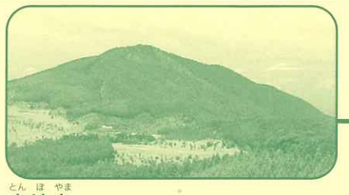
▲ 登山口
入 入山記録箱

［十坊山～浮岳～女岳縦走］

七山の北部、福岡県二丈町との境にある白木峠を出発し、まずは西側の十坊山に登る。峠からは約30分、距離は短いがアップダウンが多い。頂上からの眺望は素晴らしく虹ノ松原が一望できる。白木峠に引き返し浮岳へ、途中自然林のあたりからは、登りが続く。約90分で浮岳山頂。女岳に向かって下っていくと左側に玄界灘が見渡せる大岩展望台がある。荒谷峠下の登山口から女岳山頂までは約20分。あまり目立たない山だが北側からの眺めは良く遠くは可也山が望める。低山だがハードな縦走コース。下山後、時間に余裕のある方は、七山の中心部の「鳴神温泉ななのゆ」で疲れを癒すとよい。温泉前のバス停には「足湯」もあり。

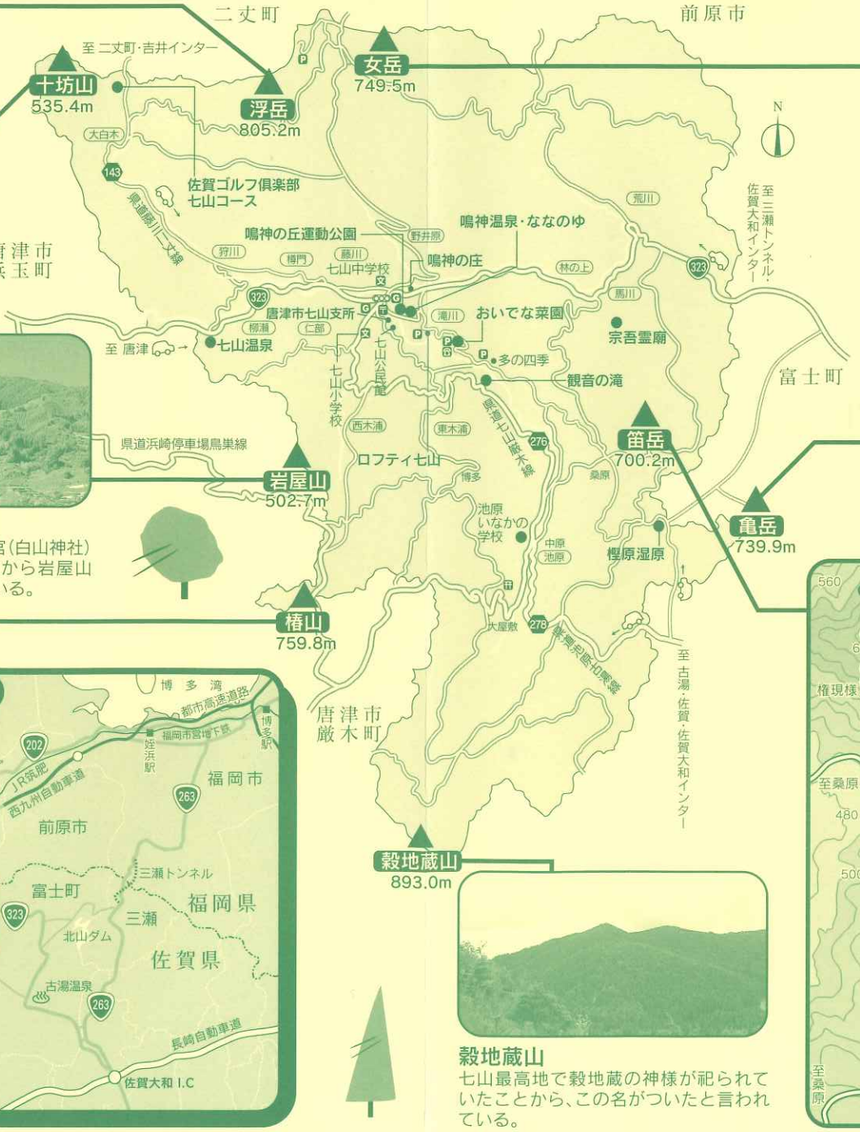
浮岳

唐津方面から見ると雲に浮かんでいるように見えることからこの名がついたと言われる。九州百名山のひとつで、別名「筑紫富士」、元旦には初日の出を見るひとが多い。山頂東側の展望台は絶好のビューポイント。



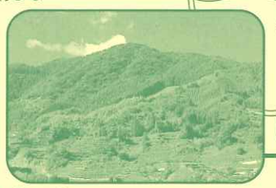
十坊山（とんぼやま）

昔、10戸の坊（小さな山寺）があり、そこでお坊さんが修行していたことから十坊山となったと言われている。脊振山系の最西端に位置し、頂上には鉄鎖を張った巨岩があり、虹の松原や唐津湾、浮岳、女岳など素晴らしい眺望です。



女岳

浮岳の東隣にある山で、大きい山（浮岳）を男、小さい山（女岳）を女と見立てたため、この名がついたと言われている。荒谷峠下の登山口からは一本道。山頂の広場にはベンチがありここでお弁当を食べるとよい。知っている人は少ない山だが遠くは可也山まで見渡せる北側の眺望はおすすめ。



岩屋山

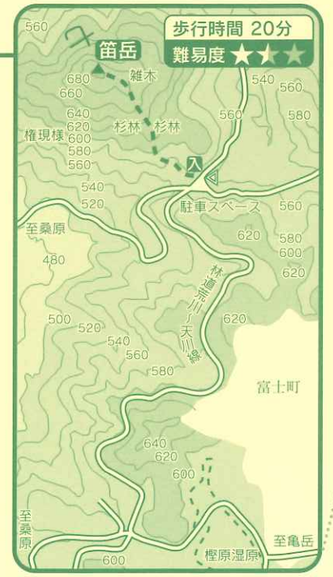
この山の中腹に岩屋宮（白山神社）が祀られていたことから岩屋山となったと言われている。

椿山

昔、椿の群生地があったことからこの名がついたと言われている。

亀岳

七山との境界、富士町側にある亀岳からは、七山が一望でき、山頂へも駐車スペースから約10分。階段、手すりも整備されているため子供連れでも安心。近くにはサギ草やトキ草で有名な樫原湿原がある。



笛岳

昔、聖徳太子を笛を奏でて迎えたので、笛岳と呼んだという説と、縁が深かった比叡山から、「ひえい岳」とされていたが、明治時代に誤って「笛岳」になったという説がある。毎月七のつく日やお盆、年末年始などには「七」の文字が浮かび上る。

穀地蔵山

七山最高地で穀地蔵の神様が祀られていたことから、この名がついたと言われている。

← 入山記録箱

みなさんの安全確認のために4ケ所の登山口（十坊山、浮岳中央、女岳、笛岳）に設置しました。入下山記録とあわせて七山の山々についての感想をぜひお書きください。